

高台移転支援の意向

山口財務副大臣が来県



山口俊一財務副大臣は18日、就任後初めて本県を訪れ、達増知事との懇談や、沿岸被災地の視察を行った。復興に向けて高台移転や土地区画整理事業などのバックアップを進める考えを示した。

県庁で達増知事と懇談した山口副大臣は「復興に向けた今後の課題などを聞き、政府としてもしっかりと対応していきたい」とあいさつ。達増知事は▽復興交付金の柔軟な運用▽復興事業の進行状況

釜石港の復旧状況について野田武則市長から説明を受ける山口俊一財務副大臣（右から3人目）

を踏まえた予算執行の柔軟化などを求めた要望書を手渡した。

山口副大臣は宮古市、大槌町、釜石市を視察。大槌町では被災市街地が一望できる高台で、碓川豊町長から土地利用計画やがれきの処理状況、釜石市では野田武則市長から釜

石港の復旧状況について説明を受けた。

視察後、山口副大臣は「まだまだ復旧レベルだと感じた。復興に向かってスピードアップすることが今の内閣の大きな目標。高台移転や区画整理などをバックアップしていきたい」と語った。

財源確保に配慮を

山口財務副大臣来県 達増知事が要望

財務省の山口俊一副大臣が18日、東日本大震災被災地の視察で就任後初めて本県を訪れ、達増拓也知事と県庁で面談した。達増知事は使い勝手の良い財源確保への配慮や消費増税の影響緩和措置などを求める要望書を手渡した。

冒頭あいさつで山口副大臣は、現在2013年度の予算編成作業を進めていることに言及。その上で「これまでで困った

ことや今後の課題などを聞き、少しでも復興に役立ちたい。宮古、大槌、釜石でも話を聞き、しっかり政府として対応する」と述べた。

達増知事は「行政がフルセットで被災地、被災者に寄り添って復興を進めていかなくてはならない」と主張。財源の柔軟な運用への配慮や職員不足への対応、消費増税による負担が被災者の住宅再建を妨げない実効性あ



山口副大臣に要望書を手渡す達増知事(左)

る措置などを求め、要望書を提出した。

面会后、山口副大臣は

宮古、釜石、大槌の3市町を訪問。魚市場や港湾施設などを視察した。

山口財務副大臣が来県

知事が財政措置など要請

山口俊一財務副大臣が18日、就任以来、初めて来県し、沿岸被災地を視察した。視察に先立って県庁で達増知事と懇談。達増知事は復興のための財源措置や人的支援などを求める要望書を手渡し、協力を要請した。

山口副大臣は「2013年度予算の編成作業中でもある。困っていることや今後の課題を聞かせていただき、少しでも復興の役に立てれば。政府としてもしっかりと対応していきたい」とあいさつ。

達増知事は、補正予算など政府の復興に対する取り組みに感謝し

た上で「大震災津波は岩手にとつて歴史始まつて以来といつてもいい大きな被害。市町村、県、国がフルセットで被災地と被災者に寄り

添つて復興を進めていく必要がある。国家的事業としての復興をお願いしたい」と述べた。

要望書では、地方が使いやすい財源の確保や復興事業の予算執行の柔軟化、専門知識を持つマンパワーの支援などを要請。消費税に



達増知事から要望書を受け取る山口俊一財務副大臣(右)

関して達増知事は「税の引き上げとの関係で、被災者の住宅再建の妨げにならないような実効性のある措置も

お願いしていかねばならない」と強調した。

山口副大臣はこのあと、宮古市と大槌町、

釜石市を視察し、水産業や港の復興状況、土地区画整理事業の進捗(しんちよく)などについて話を聞いた。